

里山の整備で景観を取り戻した事例

事業名：里山保全活用支援事業

市町名：府中町

取組のきっかけ・経緯

・平成30年7月豪雨災害後から、溪流に倒木や流木があり、また、近くに堰堤があるが、豪雨時には倒木、流木が堰堤を超えて下流に被害を与える恐れがあるため。

今後の展開

・森林の健全化、公園の景観及び利用者の安心・安全を確保するため、管理道沿いの支障木・危険木の伐採を行う。

取組の内容

- ・事業主体：みくまりの森サポートクラブ
- ・実施場所：安芸郡府中町石コロヒ83
- ・実施範囲：0.50ha
- ・業務金額：306,201円
- ・業務期間：令和2年6月1日
～令和3年3月31日

取組後の感想

【良かった点】

・事業実施後は、倒木、流木も処理され、併せて管理道沿いの整備も行えて、里山も整備された。

【悪かった点】

・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動自粛が続いた。

【整備前】



【整備後】

